

稲作情報 第6号

令和8年7月 12 日

黒 部 市
黒 部 市 農 業 技 術 会 議

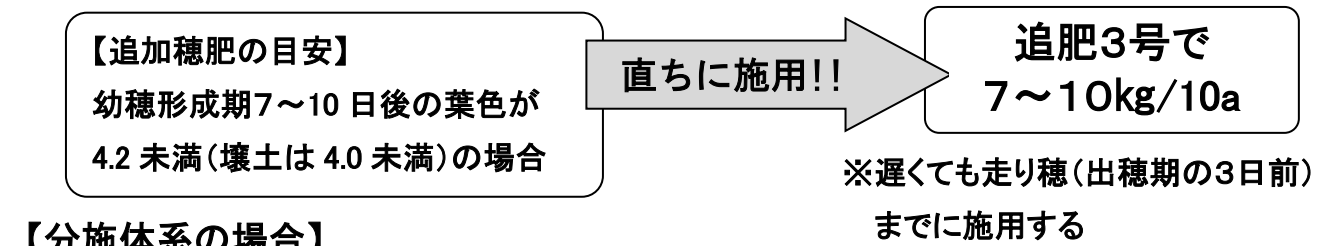
今年は、茎数が多く、収量が多くなると見込まれる一方、着粒数過多による登熟歩合や品質の低下が懸念されます。積極的に追加穂肥を施用願います。

1 穂肥 ～生育状況を見て施用～

○コシヒカリ

【基肥一発体系の場合】

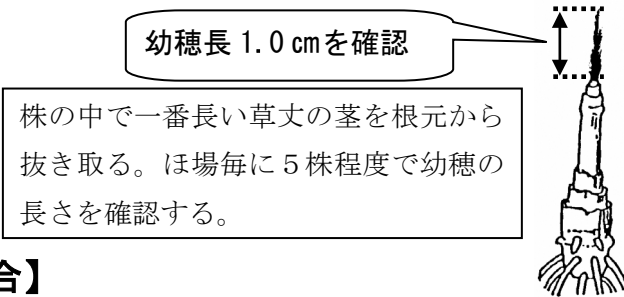
・葉色が淡い場合は、追加穂肥を施用しましょう。



【分施体系の場合】

時 期	幼穂長	草丈	葉 色	肥料名および施用量
幼穂形成期の 7 日後	1.0cm	82cm 未満	3.8～4.0	LP 追肥 38 号 15kg/10a

- ・ほ場によって生育の進み方が違うため、幼穂長(1.0cm)を必ず確認して、施用しましょう。
- ・穂肥施用時に草丈が長い(82cm 以上)場合や、葉色が 4.0 より濃い場合は、施用を3日程度遅らせましょう。



○富富富

【基肥一発体系（富富富専用肥料）の場合】

- ・適正な基肥量が施用されている場合、原則穂肥は施用しません。
ただし、幼穂形成期の 14 日後の葉色が 4.2 より淡い場合は追加穂肥が必要です。

—追加穂肥の目安—

施用時期	肥料名および施用量
幼穂形成期の 14 日後	追肥 3 号 7～10kg/10a

【分施体系（BB206 号+LP 追肥 38 号）の場合】

- ・幼穂形成期の茎数や葉色を確認し、適正に施用しましょう。

—穂肥の目安—

施用時期	幼穂長	葉 色	肥料名および施用量
幼穂形成期の 7 日後	1.0cm 程度	4.0	LP 追肥 38 号 15kg/10a

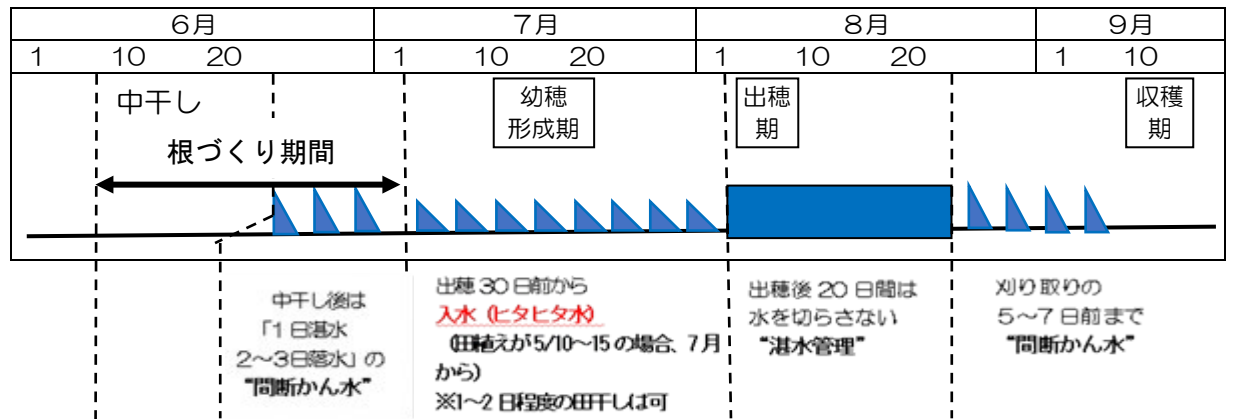
※ほ場によって生育の進み方が違うので、幼穂長を確認して施用しましょう。

※幼穂形成期の葉色が 4.0 より濃い場合は、施用時期を 1 週間遅らせ、追肥 3 号で 10kg/10a を施用して下さい。

用水はみんなの共有財産です！大切に使うよう心がけましょう。

2 今後の水管理

～適正な葉色へ誘導～



※中干しが不十分なほ場は、品質確保（倒伏防止）を優先し、しっかり干しあげましょう。

3 病虫害防除

～昨年同様、今年も斑点米カメムシ類が多い～

早生品種や雑草地周辺のは場は、カメムシ類の発生が多くなる場合があるので、必ず3回防除を行ってください。なお、散布間隔は7日間を目安とし、10日以上あけないでください。

【基本防除の目安】

○ 粉剤または液剤の場合

剤型	時期	使用農薬	散布量/10a(希釈水量/10a)		使用基準 (収穫前日数)
				ドローン	
粉剤	穂揃期	ビームモンカットスタークルF 粉剤 5DL	4 kg		14 日前まで
	傾穂期	キラップ粉剤 DL	4 kg		14 日前まで
	多発時	トレボン粉剤 DL	4 kg		7 日前まで
液剤	穂揃期	ビームエイトスタークルソル モンカットフロアブル	薬量 150 ml (希釈水量 150ℓ)	100 ml (〃 600 ml)	7 日前まで 14 日前まで
	傾穂期	キラップフロアブル	薬量 150 ml (希釈水量 150ℓ)	100 ml (〃 700 ml)	14 日前まで
	多発時	スタークル液剤 10	薬量 150 ml (希釈水量 150ℓ)	100 ml (〃 700 ml)	7 日前まで

- ・風向きや風速、散布量等に注意し、周辺の作物や住宅地等への飛散防止に努めましょう。
- ・農薬は基準量を守って使用し、栽培履歴をしっかりと記帳しましょう。

○ 粒剤の場合

防除時期	品種	使用農薬	散布量/10a	収穫前日数
穂ばらみ期	中生	フジワンラップ粒剤	4 kg	30 日前まで

- ・出穂 10 日前までに散布する。散布に当たっては、水深 3～5 cm 程度の湛水状態で均一に散布し、散布後少なくとも 4～5 日間は湛水状態を保ち、7 日間は落水しない。

※カメムシ類の多発条件や水持ちの悪いほ場は、効果不足が懸念されるため使用を控えるか、粉剤または液剤を使用し、追加防除を行ってください。

※粒剤は残効性による、残留農薬防止のため収穫前日数を厳守して散布してください。

【随時防除】

紋枯病の発生がみられる場合、穂ばらみ期（出穂 10 日前頃）に防除しましょう。

剤型	使用農薬	散布量/10a (希釈水量/10a)	収穫前日数
粉剤	モンセレン粉剤DL	4 kg	21 日前まで
液剤	バリダシン液剤	薬量 150 ml (希釈水量 150ℓ)	14 日前まで

今年も厳しい猛暑が予想されます。農作業中の熱中症対策を心がけましょう！！

【連絡先】 J A くらべ営農センター 52-5615 J A くらべ南部営業所 54-5450

北部営業所 54-0034

新川農林振興センター農業普及課 52-0945

東部営業所 65-7200